

11月定例教育委員会 会議録

- 1 開催日 平成27年11月5日(木)
- 2 開催場所 新館8階教育委員室
- 3 出席した委員 吉田委員長、森委員、坂元委員、廣岡委員、田淵教育長
- 4 出席した職員 諏訪教育総務部長、日浦教育指導部長、
青山教育指導部参事、
吉田教育総務課長、竹中学務課長、
野村社会教育・スポーツ振興課長、大西学校教育課長、
長瀬青少年育成課長、長谷川教育研究所長、
竹内中央図書館長、芝本教育総務課副課長
- 5 傍聴者 4人
- 6 議事の要旨
 - 開 会 午後2時00分
 - 会議録署名委員指名のこと
吉田委員長、坂元委員に決定
 - 10月定例教育委員会会議録報告承認のこと
(事務局から会議録朗読報告)
承認
 - 会議公開の可否決定のこと
全ての議事を公開することに決定

(専決報告)

1 加古川市社会教育推進員の解職及び委嘱について

(教育指導部参事から 説明)

承認

委員 : 名簿に「小学校区」という項目が設けられているが、趣旨等について説明をお願いしたい。

事務局 : 社会教育推進員は、町内会からの推薦に基づき委嘱しているが、各町内会における活動を小学校区ごとに束ねている。それらを更に中学校区で束ねており、それぞれのエリアごとに活動を行っている。

委員 : それぞれのエリアごとの活動について、相互のPRや情報交換を行える機会はあるのか。

事務局 : 毎年5月中旬と12月上旬に開催されるエリア代表者会などにおいて、代表的な取組の紹介や情報交換が行われている。

委員 : 社会教育推進員がユニットごとに束ねられていることは非常に意味があることだと思う。本市における教育の基盤形成につながる可能性もある。

委員 : 社会教育推進員の具体的な活動事例を教えてください。

事務局 : 主な活動としては、町内会と協力して運営する夏祭りなどの世代間交流事業が挙げられる。

委員 : 社会教育推進員がPTAと密接に連携することで活動に広がりが出る可能性があると考えますが、PTAの役員を兼ねている場合もあるのか。

事務局 : 社会教育推進員の年齢構成を考慮すると可能性は低いと思われる。なお、各町内会に原則1人の配置となっているが、世帯数に応じて2人以上配置している町内会もある。

委員 : 社会教育推進員は、町内会役員としてのイメージを持たれがちであるが、教育委員会が委嘱する職であるという根本的な理念の下、その役割を果たしていただく必要がある。現状の再点検も含め、事務局にはそのような働きかけをお願いしたい。

2 加古川市少年補導委員の解職について

(教育指導部参事から 説明)

承認

委員 : 今回解職となった委員の年齢を教えてください。

事務局 : 68歳である。なお、後任の委員については、町内会に対して推薦を依頼しているところである。

委員 : 少年補導委員については、継続して活動していただいていることもあり、高齢化が進んでいるため、世代交代も課題の1つであるように思う。

事務局 : 2年前の少年補導委員の平均年齢は約60歳であり、現在では約62歳となっている。委員の交代は度々あるが、全体としての世代交代は進んでいないのが現状である。

委員 : 少年補導委員の職務内容上、休日の行事等に合わせた勤務や、平日の夕方の会議が多く、お勤めされている方にとっては参加が難しいため、結果的に高齢の委員が増えている状況である。ただ、気持ちは非常に若く、若い方には負けないという気概を持って臨んでいただいているので本当に助かっており、感謝しているところである。

委員 : 少年補導委員の配置基準を教えてください。

事務局 : 原則、小学校区を単位として配置しているが、加古川小学校や鳩里小学校など、児童数が多い地区もあるため、31地区に整理している。それぞれの地区の児童数を考慮して、1地区に対して5人又は6人程度の少年補導委員を配置している。

委員 : 少年補導委員は青少年育成連絡協議会と連携を図っているのか。

事務局 : それぞれの職を兼ねている方もおられる。また、合同補導等で顔を合わせ、様々な情報交換を行うなど、連携・協力を進めている。

委員 : 少年補導委員は、補導を専門としているので、子どもたちの様々な情報を把握している。その情報を青少年育成連絡協議会に提供するなど、連携を図ることにより、より効果的な補導活動につなげることができるものとする。

(協議事項)

1 平成 28 年度加古川市立加古川養護学校高等部第 1 学年の生徒定員について
(教育指導部参事から 説明)

原案可決

委 員 : 単一障害学級について、現在市内の中学校 3 年生が在籍していない状況の中で、高等部第 1 学年に 1 学級の定員を設けるのは、他市からの子どもたちの受け入れを想定しているのか。

事 務 局 : 他市からの受け入れの可能性に加え、今後市内の子どもが対象となる可能性もあるため、1 学級は枠として確保しておく必要があると考えている。

委 員 : 単一障害学級の「単一障害」とは、基本的に肢体不自由のことを指しており、それに加えて知的や情緒などの障がい重複している場合を「重複障害」としているという認識でよいか。

事 務 局 : その認識のとおりである。

委 員 : 加古川養護学校は、充実したスタッフにより子どもの個々の症状に応じた対応をしているため、入学希望者が多く、近隣市町からも一部受け入れを行っている。現在は 64 人の子どもたちが在籍している。

委 員 : 特別支援学校について、県立と市立のそれぞれの役割を教えてください。

事 務 局 : 知的障害に関する特別支援については、いなみ野特別支援学校や東はりま特別支援学校といった県立の特別支援学校が担っており、肢体不自由に関する特別支援については、加古川養護学校や姫路市の書写養護学校といった市立の特別支援学校が担っている。

委 員 : 加古川養護学校に在籍している子どもは、加古川市、高砂市、稲美町、播磨町、加西市と認識しているが、その認識でよいか。

事 務 局 : その認識のとおりである。

委 員 : 先日、加古川養護学校創立 50 周年記念式典が開催され、委員の方も参加されていたが、何か感想等があればこの場でお願いしたい。

委員：式典全体については、先生方も子どもたちも非常に頑張っており、大変すばらしいものであった。ただ、養護学校内では、様々な設備やスタッフに守られている子どもたちが、いざ社会に出た際のことなど、非常に考えさせられる点があり、教育委員として何ができるか改めて考えたい。

委員：養護学校は非常に良い施設であるが、やはり老朽化は否めないように思うので、様々な機器の更新も含めて、今後計画的に対応を進めてもらいたいと考える。

委員：現在の養護学校は、移転前の施設と比較すると飛躍的に改善されていると思う。バスの乗降場の環境や校庭の広さなどに加え、内部施設も非常に使い勝手が良くなっていると感じた。老朽化についての問題は多少あるかもしれないが、機能的な施設であるということについて、強い印象を受けた。

また、これまで様々な式典に参加してきたが、それぞれの学校の特色に応じた式典となっており、今回の式典も養護学校らしい式典で、大変すばらしいものであったと思う。

○ 次期定例教育委員会予定日のこと

12月3日（木）午後2時から開催することに決定

○ 教育委員諸報告

〔委員長から〕

（1）学校園訪問について

神吉中学校と川西小学校、両荘幼稚園を訪問した。施設の老朽化対策については、計画的に実施していくことになると思うが、可能な範囲で各学校園に工事予定等を伝えることができれば、学校現場での安心につながるのではないかと思う。

また、指導面については、発言・発表の少ない子に注目し、そのような子どもたちがどこで悩んでいるか、どこでつまづいているかを把握し、解決方法を含めた研究活動を先生方には進めていってほしいと思う。

両荘幼稚園については、統合に合わせて園舎が増築されたが、既設部分と新設部分がうまく調和し、素晴らしい施設になっていたように思う。

〔森委員から〕

（1）学校園訪問について

平岡南中学校を訪問した。1人の生徒を全員でほめる「ほめ言葉のシャワー」を実施していたが、取組方法が工夫されており、印象に残った。

〔坂元委員から〕

(1) 学校園訪問について

浜の宮中学校を訪問した。学校全体が非常にオープンな感じであり、先生も生徒も非常に元気があった。浜の宮中学校に限らず、施設面での安全確保について、今後見直していく余地があるように感じた。

〔廣岡委員から〕

(1) 学校園訪問について

平岡中学校を訪問した。授業参観の前に校長から各生徒の特性・状況に関する情報提供があり、より効果的に参観することができた。また、校長が生徒それぞれの状況を把握し、きめ細やかな対応をしていることが伝わってきた。

○ 教育長諸報告

(1) 平成 27 年度近畿市町村教育委員会研修大会について

10 月 13 日（火）に京都市にて開催され、新教育委員会制度に関する講演や、箕面市や三木市からの事例報告等があった。

(2) 平成 27 年度第 2 回兵庫県都市教育長協議会について

11 月 4 日（水）に西脇市にて開催され、特別支援教育や幼小連携、学校施設のバリアフリー化等の内容について、情報共有を図った。

○ 教育総務部長諸報告

(1) パブリックコメントの実施について

「第 2 期『かこがわ教育ビジョン』と「こどもの読書活動推進計画」の案について、平成 27 年 11 月 2 日（月）から平成 27 年 12 月 1 日（火）までの期間、パブリックコメントを実施する。

委 員 : 現時点で意見はどのくらい届いているのか。

事 務 局 : メールや郵送による意見は、現時点では寄せられていない。

(2) 平成 28 年度市立幼稚園 4 歳児の入園申込み状況

平成 28 年度入園の幼稚園 4 歳児一次募集を 10 月 13 日（火）～10 月 19 日（月）まで実施し、定員を超えた 11 園については、10 月 28 日（水）に抽選を行った。

一次募集の結果、入園が決定しなかった幼児を対象に 11 月 9 日（月）から 11 月 13 日（金）まで二次募集を実施する。また、二次募集にあわせて、加古川幼稚園、氷丘南幼稚園及び平岡南幼稚園で各 35 人を追加で募集する。

二次募集及び追加募集の後、11 月 18 日（水）に抽選を実施する。

(3) 新中学校給食センター建設候補地について

中学校給食の実施に向けた新中学校給食センターは2箇所設置する予定にしており、日岡山公園隣接地を建設候補地の1つとして進めている。

委員：神戸市の異物混入事案の後、加古川市では現状の点検等を行ったのか。

事務局：異物が子どもたちの手元まで届いてしまった事案としては、平成25年度に33件、平成26年度に32件、平成27年度は10月末現在で27件発生している。

委員：万全を尽くしたうえでの件数だとは思いますが、今後0件となるよう努力をお願いしたい。

以上、3件について報告

○ 教育指導部長諸報告

(1) 第3回市民スポーツカーニバル、第37回小学校陸上記録大会の開催報告について

11月3日(火)、加古川市スポーツネットワーク委員会主催の第3回加古川市民スポーツカーニバルと小学校陸上記録大会が、加古川運動公園陸上競技場と総合体育館において開催された。

(2) 研究発表会の開催報告について

10月16日(金)に平岡中学校と兵庫大学で県中学校技術・家庭科研究大会が、10月30日(金)には平岡南中学校で、東・北播磨地区中学校道徳研究会が開催された。

(3) 学校食育研究大会について

11月17日(火)、県教委と市教委指定の「地域の特色を生かした食育推進事業」として、東神吉小学校で開催する。

(4) 第4回かこがわイングリッシュ・ウォークの開催について

11月14日(土)に実施される「加古川ツーデーマーチ」に、小学生がALTと英語でコミュニケーションを図りながら参加する。

委員：ALTが6人に対し、定員が30人となっているが、例年応募状況は30人前後なのか。

事務局：定員を超えれば抽選となるが、今年度の申込みは22人となっている。

委員：英語を身近に感じるととても良い機会だと思うので、積極的な参加を促してもらいたい。

(5) 第68回加古川市小学校連合音楽会の開催について

加古川市小学校音楽教育研究部会等の主催で開催する。

日時：11月20日(金) 開場 09:45 開演 10:15

場所：加古川市民会館 大ホール

委員：昨年度参加した感想を言わせてもらおうと、演奏等は非常に素晴らしかったように思う。ただ、子どもたちは力が入りすぎて顔が非常に緊張していたように感じた。子どもたちがいきいきとうれしそうな顔で演奏等をできるような会になれば更にいいものになると思う。

(6) 兵庫県内教育研究所連盟 研究会発表会について

11月27日(金)、総合文化センターで開催される。

委員：廣岡委員が記念講演をされることもあり、是非参加したい。

委員：通常の講演では、学校経営や危機管理といった内容であるが、今回の講演は息抜きになればという思いと、授業における郷土の活用につながればという思いを持っている。

(7) 「若い夢フェスティバル FORZA2015」の開催について

加古川市青少年団体協議会の主催で、子どもや青年同士他、世代間の交流を図る総合的なイベントが開催される。

日時：11月29日(日) 10:00~15:00

場所：加古川市役所前広場・鹿児の庭・市民会館小ホール

委員：「FORZA」の読み方と意味を教えてください。

事務局：「フォルツァ」と読み、イタリア語で「がんばろう」という意味などがある。

(8) 第3回社会教育委員会議について

10月6日(火)、中央図書館と加古川図書館の施設見学を行った後、開催された。

(9) 後期「トライやる・ウィーク」の実施について

11月6日(金)~13日(金)に実施される。

以上、9件について報告

○ 閉会 午後3時15分